

プレスリリース [ 令和 5 年 3 月 10 日 ]

(計 4 枚)

## e-加賀市民制度実証実験 全国から e-加賀市民が集まる リアル 1Day イベントを開催します

加賀市は、令和 5 年度からの「e-加賀市民制度」導入に向け、事前に公募で選定した参加者 100 名とともに、3 月 6 日（月）から 3 月 24 日（金）までの間、実証実験を行っております。

この度、実証参加者が加賀市内に集結するリアル 1Day イベントを、以下のとおり開催しますのでご案内いたします。

報道各位におかれましては、取材方よろしくお願いたします。

日 時 令和 5 年 3 月 18 日（土）13 時 30 分より  
場 所 みやびの宿 加賀百万石（旅館内の会場は調整中）  
参加者 加賀市長 宮元 陸  
加賀市最高デジタル責任者 山内 智史  
e-加賀市民（参加人数は集計中）

内 容 ・ 市長挨拶  
・ e-加賀市民によるプロジェクト候補案の発表（5 案程度）  
・ 集合写真撮影  
・ 懇親会

※イベントの詳細は、決定後に再度情報提供いたします。

---

### 1. e-加賀市民制度について

e-加賀市民制度は、観光、ワーケーション、多拠点生活などで加賀市を訪れる関係人口を増やすことを目的に、電子市民である e-加賀市民に、加賀市が様々な行政サービスを提供する制度です。

e-加賀市民は、e-加賀市民サイトを通じて、e-加賀市民証となるオリジナル NFT (Non-Fungible Token (非代替性トークン) の略。「偽造不可な鑑定書・所有証明書付きのデジタルデータ」のこと。暗号資産 (仮想通貨) と同じく、ブロックチェーン上で発行および取引される。) を取得できるほか、専用コミュニティ、乗合タクシー、市内宿泊事業者のワーケーションサービスなどを利用することができます。(今後サービス拡大を予定)

また、e-加賀市民サイト上では、実施されるプロジェクトごとに NFT を発行する仕組みの導入も検討中です。

### 2. e-加賀市民制度実証実験について

令和5年3月6日から3月24日までの間、暗号資産 (仮想通貨) ・NFT 利用者、デザイナー、クリエイターと、一般の参加希望者の合計 100 名に、e-加賀市民としてシステムと提供サービスを体験してもらい、e-加賀市民拡大へ向けてのアイデアや、運営上の課題の洗い出しを行います。

### 3. 実証実験詳細

#### ●テーマ：

挑戦可能性都市・加賀をみんなでつくる！NFT を活用した電子市民 (e-加賀市民) の実証体験会

#### ●期間：

令和5年3月6日 (月) ～令和5年3月24日 (金)

#### ●スケジュール：

令和5年2月19日 (日) 事前説明会 (オンライン開催) ※開催済

令和5年3月5日 (日) キックオフミーティング (オンライン開催) ※開催済

令和5年3月18日 (土) リアル1day イベント (みやびの宿加賀百万石)

令和5年3月26日 (日) クロージングミーティング (オンライン開催)

※上記は全て、事前に公募で選定した参加者のみが参加可能

---

**●提供サービス：**

- ・e-加賀市民証となるオリジナルNFTの取得
- ・e-加賀市民専用コミュニティへの参加
- ・乗合タクシーの利用
- ・市内宿泊事業者のワーケーションサービスの利用

**●e-加賀市民証となるオリジナルNFTについて：**

実証実験で使用可能なオリジナルNFTは、NHK大河ドラマ「武蔵」や講談社「バガボンド」「ジパング」等の題字を手掛け、世界的に活躍するSYO ARTIST 吉川 壽一(よしかわ じゅいち)氏がデザインを担当し、本実証参加者に対しては無償で提供します。

**【本デザインの構成要素】****(1) 漢字**

「加賀を消滅させない」「加賀を残していく」という強い想いを、全世界に向けて発信するために、「加賀」の二文字を、日本の伝統文化である書道でシンプルに表現。また、「加」は英訳すると”join (Web3.0)”であり、“read (Web1.0)”及び”write (Web2.0)”と識別する漢字である。

**(2) 円**

- ①円相図：石川県出身で、日本を代表する思想家の西田幾多郎氏の「円相図（心月孤円光呑万象）」という哲学を表現している。
  - ②Infinite garden：web3・ブロックチェーンイノベーションをリードするイーサリアムの、Infinite garden (“Ethereum is a protocol for human coordination”) の考え方を想起させる。
  - ③加賀市との「ご縁」：人との“縁”、加賀という地域との“縁”など、“縁”を通して関係人口を創出する。
-

(3) 朱と黒

山中漆器を想起させる色で、漆器の朱は千年経っても色あせることはないと言われており、e-加賀市民コミュニティが長く続いていくことを示すものである。

本件へのお問合せ先  
加賀市政策戦略部スマートシティ課 担当：池田 TEL 0761-72-7840